

寺ちのわだい

猛暑の中六種目に熱戦
本市で下越青年大会



七月十一日、白根高校を中心会場に、下越青年大会兼県青年大会下越ブロック予選会が開催され、軟式野球など六種目に約八百人が出場しました。三十二度という猛暑にもかかわらず、日ごろの練習の成果を存分に発揮し、熱戦を繰り広げました。

その結果、白根市は軟式野球がBブロック一位、ソフトボールと軟式庭球で二位に入賞、陸上競技、卓球、柔道、剣道とともに、県青年大会の出場権を獲得しました。



オランダの空に白根の大風
国際交流と親善のため一役

六月十二日・十三日、オランダのスヘニンゲン市で「国際風上げフェスティバル」が開催され、世界各国の風が大空に舞い上がりました。白根市からも十人が参加して風を上げると、会場を埋めた七十万人の観衆から、盛んな拍手が送られました。

その後、ベルギーのクノッケ市でも風を上げ、両国と日本との国際交流、親善の目的を果してきました。



創造性豊かな若者に育て
教育センターに青年の像

片ひざをつき、右手を伸ばして空のかなたを見つめる金色の青年像―若者たちの活動の拠点になっている青年教育センターに、青年のシンボル像「光」が設置されました。

これは、「創造性豊かな若者に育ててほしい」との願いをこめて、若竹会(富田孝作会長)が、県展無鑑査で両津高校教諭の田中足穂氏に製作をお願いし、贈ったもので、作品は台座を入れて二百センチの高さです。

「この彫像『光』を、センターのシンボルとして生かしていきたい」と外川所長は話していました。



市民文芸

俳句

夏草や無住となりて寺の墓地
戸を繰りて風鈴鳴らす婦省の娘
風鈴を吊りなほしけり風の道
金魚ふ隣の家の母子づれ
古池の隅に抱き合う蛇莓
寺お講係にせがまれ金魚買ふ
夢さめて窓一杯にカッコ聞く

石田 豊一
坪川 桐太郎
石田 豊実
田中 昭一
真保 清三
佐藤 勇一郎
佐野 竹子

川柳

湯上りや風鈴の音の屑にふれ
訪れば留守なり風鈴鳴るばかり
病室に祭り想いて蕨の味

阿部 昌一
須戸 義夫
小林 キミイ

名門の血筋に流れているセンス
電気生む母は無色の水である
遭難の露命つないだ岩清水
重態の子にふくませる母の水
闘入に悲鳴をあげずワンダフル
長生きを囀はそそろ患癩を吐き
汗だくの乾杯球児土も添え
水が気に合って住みつく土地を
湧き水がやがて大河となる旅路
水のないプールで泳ぐ自閉症
勲章の桐箱抱いて語る過去

長井 徳市
中村 尚治
後藤 マサノ
花岡 増男
大井 義雄
山岡 フミ
西條 ムラ
高橋 祐四雄
今井 七郎
吉川 彰
岡村 清

市民談話室

数十年前に呼び戻されたテレビドラマ

白野ソヨさん(新飯田・主婦・51歳)

日ごろあまりテレビを見ない私がめずらしく、七月八日放送の「小児病棟三〇五号室応答なし」のドラマのとりこになりました。

と、言うのも、私の息子が小学生のころ、新大病院、続いて東京の慶応大学病院と入院し、手術また手術のくり返して、先に希望が持てない暗く重い気持ちで、親子が長い病院生活を過ごしました。

いつしか数十年前に呼び戻され、ドラマに吸い込まれ、涙があふれてきました。幸い息子は、神の救

いが健康をとりもどし、今は恵まれた日々をおくり、がんばっています。

人はそれぞれ、他人の知らない何かを背負って生きています。その時々、生活に負けず、自分から不幸と思わず、自分の心に不幸をつくらず、先に少しでも希望を、心身の健康を求めての生活を、とあのとき以来考えて生活してきました。

今また改めて、健康のありがたさを喜んでいる次第です。

にぎやかで活気のあるまつりを望む

福島信子さん(水道町・会社員・20歳)

私が何歳くらいかときだったかは良く覚えていませんが、まだ幼かったころ、白根まつりの日、おばあさんに手をひかれて、白根まつりは、夜店もたくさん出て、まつりは、ぎやかだったように思います。

最近はお諏訪まつりのほかは、民謡流しや花火大会をやったり、やらなかったり、バラバラで活気がないと思います。

昨年は、とうとう子供みこしを除けば、やらなかったようです、まつりにはつきものの花火大会も

何年か前からお目にかかっています。まつりの日が来ても、まつりという気が全くしません。

まつりの内容も、これまでのワンプアーンから脱皮し、伝統的なものに加えて、市民祭的な楽しい企画のものをできるだけ多く取り入れて、にぎやかな活気のあるまつりにしていきたいですね。

婦人学級の学習と献血を同じ日に

小山ケイ子さん(道湯・会社員・37歳)

私たち道湯婦人学級は、毎年七月の第一日曜日に、茨曾根地域生活センターで料理実習を行っています。その日は、地域の献血の日でもあります。

最初の料理実習のときが、献血の日と同じ日だったので、私たちもそれに合わせて、毎年献血に協力してきました。もう四年も続いています。

午前中、みんなで力を合わせて料理を作り、お昼にはその成果を話し合いながら楽しく食事です。

そのあと献血するのですが、具合の良くない人は献血できませんが、ほとんどの学級生がまず検査を受けます。ここでは血圧を計ったり、血液の比重などを調べてもらえるので、自分の健康状態を知ることができるよう、困っている人に少しでも私たちの血液が役に立つことができるなら幸いと、続けてきました。

これからも、この料理実習と献血は、長く続けて行きたいと思っています。

投稿ください。市民の皆さんの意見交換の場がこの市民談話室です。テーマは自由です。あなたの意見を気軽に寄せてください。採用文には薄謝を差し上げます。ページの都合で、文を短くすることがあります。あて先は、大字白根二二三五 白根市役所企画財政課広報広聴係です。